

普通徴収切替理由書 兼 仕切書

市区町村名	日光市	指定番号	
事業者名			

符号	普通徴収切替理由	人数
普A	総従業員数(他市区町村の受給者も含む)が2人以下 (他市区町村分を含む下記「普B」~「普F」に該当する全ての従業員数を差し引いた人数)	人
普B	他の事業所で特別徴収 (乙欄該当者 など)	人
普C	給与が少なく税額が引けない (年間の給与支給額が93万円以下)	人
普D	給与の支払が不定期 (給与の支払が毎月ではない など)	人
普E	事業専従者 (個人事業主のみ対象)	人
普F	退職者又は退職予定者(5月末日まで)及び休職者	人
合計		人

○上記の普通徴収切替理由は、当面、普通徴収を認める基準(普A~普F)を示すものです。

○当面、普通徴収を認める基準に該当し、かつ、普通徴収を希望する方がいる場合は、該当する理由の右側「人数」欄に人数を記入し、個人別明細書の摘要欄にも該当する理由の符号(普A~普F)を記入して、総括表と併せて提出してください。

○普通徴収切替理由書の提出と個人別明細書に符号の記載が無い場合や、明らかに該当理由にあてはまらない場合は、特別徴収対象者となります。

○特別徴収に該当する方と普通徴収に該当する方がいる場合は、仕切書として普通徴収の方の個人別明細書の上に挿入し総括表や他の個人別明細書と合冊して提出してください。

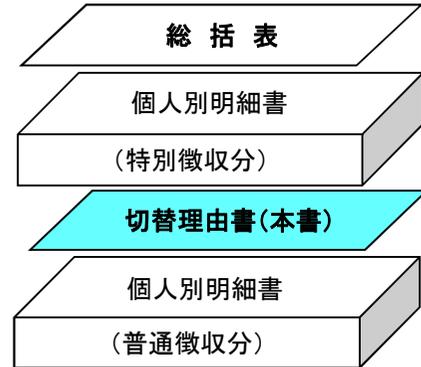
○eLTAX等の電子媒体で給与支払報告書を提出する場合は、該当する方の「普通徴収」欄に必ずチェックを入力し、摘要欄に該当する普通徴収切替理由の符号(普A~普F)を入力願います。添付書類での「普通徴収切替理由書」は受付できません。

【留意点】

- ① この切替理由書に、普通徴収に切り替える方(特別徴収できない方)の個人別明細書を添付し、提出してください。提出時の綴り方は、下図をご参照ください。
- ② 普通徴収の個人別明細書の件数と切替理由書の合計人数が一致すること、及び個人別明細書の摘要欄に符号(普A~普F)の記入があることを必ずご確認ください。
- ③ 普A~普Fの6項目以外の切替理由は認められません。
- ④ 切替理由が確認できるものであれば、任意様式による提出でも差し支えありません。

きりとりせん

<提出時の綴り方>



<普通徴収の場合の個人別明細書 記入例>

社会保険料等の金額		生命保険料の控除額		地震保険料の控除額		住宅ローン等特別控除の額	
<p>普F ← 令和〇〇年3月31日退職予定</p>							
<p>退職予定者は、摘要欄に「退職予定日」と符号「普F」を記入してください。</p>							
<p>普通徴収の場合、摘要欄に符号「普A」~「普F」を記入してください。</p>							
<p>乙欄該当者で、普通徴収の場合も、摘要欄に符号「普B」(または該当する理由の符号)を記入してください。</p>							
<p>退職者は、こちらに「退職年月日」を記入し、摘要欄に符号「普F」を記入してください。</p>							